

からだの声レポート ○○様 測定結果サマリー



罹患

■ 心血管・脳血管疾患リスク-4年
次の4年以内に心臓発作、脳卒中、心不全にかかるリスク



再発

■ 血栓疾患 再発リスク-4年
今後4年以内に発作、脳卒中、心不全などを再発するリスク



からだの状態予測



■ 肝臓脂肪

肝臓に過剰な脂肪の量の推計



■ 心肺機能-VO2Max

最大酸素摂取量



■ 糖尿病予備群

耐糖性の予測と糖尿病予備群推計

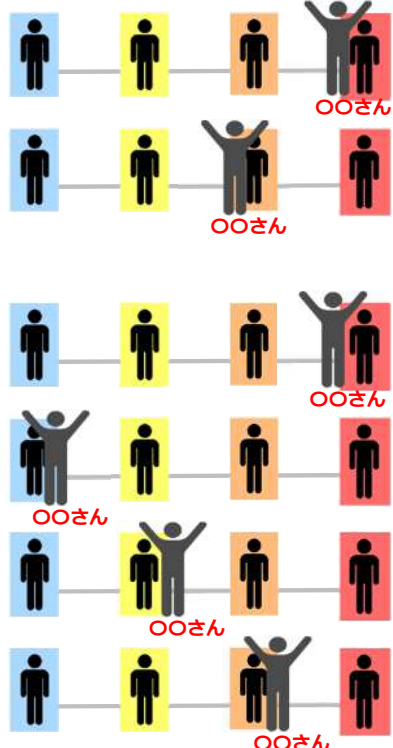


■ 内臓脂肪

循環器疾患などの原因の推計

良好

心配



※各レポートのイメージは実際のレポートではありません。ダミーデータを使用した開発中のサンプルイメージになります。

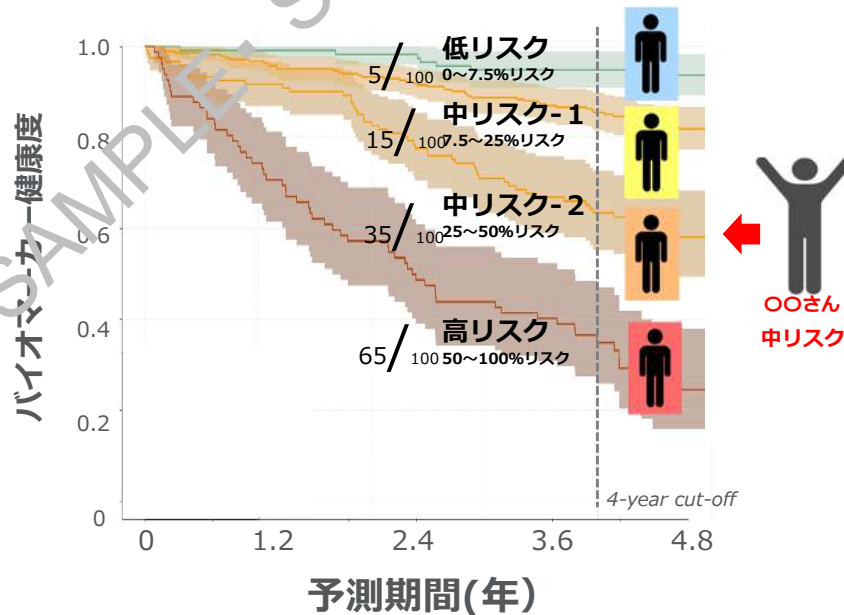


今後4年の再発予測

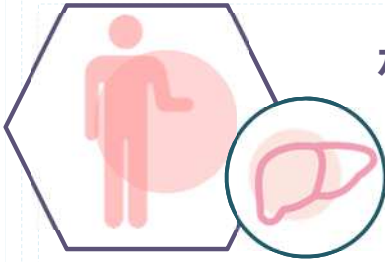
心血管・脳血管疾患

今後4年以内の心臓発作、脳卒中、心不全などの再発可能性を示しています。

リスクをより効果的に低減するために、生活習慣の改善指標に利用してください。
 バイオマーカーが示す、今後4年間に心臓や脳（脳卒中）に問題を生じるリスクは“MEDIUM（中程度）”のようです。
 あなたと類似したマーカー結果が得られた欧州人の100人にうち15人に、4年以内に心疾患・脳血管の再発があったことが最新の論文で報告されています。



※各レポートのイメージは実際のレポートではありません。ダミーデータを使用した開発中のサンプルイメージになります。



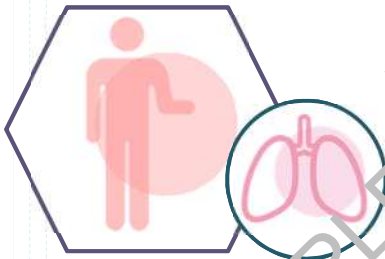
からだの状態予測

肝臓脂肪

肝臓に過剰な脂肪があるかのデータです。

肝臓に脂肪が蓄積すると肝疾患を引き起こす可能性があります。脂肪肝が進行すると、肝機能に影響を及ぼし、心疾患のリスクを高め、糖尿病も発症する可能性があります。

あなたと同じようなバイオマーカー組成を保有の欧米人では、肝臓の脂肪が過剰になるリスクが高いことが報告されています。



からだの状態予測

心肺機能- VO2Max

ランニングやサイクリング中でなくても、血液中のタンパク質を測定することで心肺機能がわかります。

酸素摂取量や肺、心臓、循環器系、筋肉がどれだけ機能しているかを知ることができます。

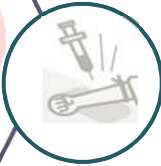


低 適正 良好 優秀

あなたの最大酸素摂取量の予測値で評価しました。あなたと同じ年齢や性別の人々と比較して"良好"な状態です。



からだの状態予測



糖尿病予備軍

耐糖能試験は、あなたの体が砂糖やブドウ糖をどれだけうまく処理できるかを測定します。

単糖を摂取した後に血糖値が高くなりすぎる場合は、体の細胞が糖を吸収していないため、耐糖能が低下している可能性があります。

- タイプ2糖尿病を減らすためには
- ・ 30分の運動を週に5日
 - ・ 7%体重を減らすことが有効と報告されています。



からだの状態予測



内臓脂肪

内臓脂肪は「アクティブファット」と呼ばれることもあります。体内の他の脂肪より、代謝的に活性であり、ホルモンや、健康に悪影響を及ぼす可能性のある他の化学物質を放出します。

一般的に、内臓脂肪は、心臓病、深刻な病状発作、糖尿病、脳卒中、一部のがんリスクの増加に関係します。内臓脂肪は体の奥深くにあり、低線量X線やMRIを使用して検出します。私たちは、血液中のタンパク質を測定することで、あなたの内臓脂肪の量を推計する放射線被爆のない方法を活用しています